

高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業 令和2年度実績

1. 相談支援事業等

(1) 高次脳機能障がい支援相談会

行政書士・社会保険労務士・家族会による相談ブースを設け、自賠責保険の後遺障害認定や障がい年金・労災保険の手続き、家庭内での関わり方といった困りごとの解決への道筋について助言してもらう相談会を開催した。事前予約制で、各相談ブースでの相談時間は30分とした。

対象：当事者、家族、支援者

日時及び場所、参加者数：

第1回 令和2年9月29日(火) 13:30～16:00 府立障がい者自立センター大会議室 25名

第2回 令和3年1月26日(火) 13:30～16:00 電話・スカイプ 11名 来談1名

※2回目は、緊急事態宣言発令中のため、原則スカイプか電話での相談とした。

(2) 高次脳機能障がい者自動車運転評価モデル事業

既に自動車運転免許証を取得している高次脳機能障がい者の方が、安全に運転を再開できるかを考えていただくとともに、大阪府公安委員会(運転免許試験場適性試験係適性相談コーナー)に提出するための診断書を取得することを目的とし、医師による診察、神経心理学的検査、自動車学校での運転技能評価などを行った。

また、平成30年度以降、身近な地域で大阪府公安委員会に提出する診断書(様式7:脳卒中用)の作成ができるよう、医療機関、自動車教習所に協力を打診し、自動車教習所が2か所、地域の協力病院が1か所増えている。

事業参加者数:137名(平成26年9月～令和3年3月31日)

大阪府障がい者自立相談支援センター受付分 56名

堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター受付分 81名

実施状況:別表参照

(3) コンサルテーション事業

支援に悩んでいる障がい福祉サービス提供事業所を訪問し、状況や高次脳機能障がいの状態像の整理等を支援者の方と共に行い、今後も事業所で支援をしていくための方策を検討した。

実施件数:9件(平成30年10月～令和3年3月31日)

・市町村別の内訳は、大阪市3件、東大阪市1件、八尾市2件、茨木市1件、吹田市1件、和泉市1件

・事業所種別の内訳は、就労継続支援A型2件、就労継続支援B型2件、生活訓練3件、生活介護2件

2. 普及啓発

普及啓発イベントや損保協会の助成金を利用したリハビリテーション講習会等を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、翌年度への延期や中止となった。

(1) 「高次脳機能障がいのある方への支援ヒント集～府内事業所の実践例より～」の作成

H30年度に実施した府内日中活動系の障がい福祉サービス事業所に対するアンケート調査

結果をもとに、支援者が対応に困る場面やできごと等を分析し、高次脳機能障がいのある方の行動や症状に対して、なぜそのような行動や症状が生じているのかを考えるポイントや、対応例を掲載した事例集を作成した。令和3年3月大阪府高次脳機能障がい相談支援センターのホームページに掲載し、ダウンロードできるようにした。令和3年度秋以降に冊子化を予定。本冊子を活用して、府内関係機関(市町村・医療機関・福祉サービス事業所等)に対する研修や事業所へのコンサルテーションを展開することにより、府内関係機関の支援力向上を図っていく。

3. 研修

新型コロナウイルス感染症対策のため、方法を Web に変更したり、密にならないよう定員を縮小したりして実施した。Web にした影響もあってか、医師の参加率が上がったり、定員が少なくなったことで、演習が内容の濃い話し合いができたという声を頂いたり、結果的にプラスの側面も見られたことから、今後の開催方法等にも考慮していきたい。

(1)市町村高次脳機能障がい担当職員研修

日 時:令和2年10月9日(金)午後1時10分～午後4時30分

場 所:大阪急性期・総合医療センター3階講堂

参加者:市町村職員 28名(23市区町村)

内 容:当事者の体験談や家族支援の大切さ、また高次脳機能障がい支援のためには、市役所内での他部署との連携や他機関との連携、自立支援協議会への働きかけの必要性があること等について

(2)地域支援者養成研修・相談支援従事者等研修(2日間)

日 時:1日目 令和2年10月9日(金)午前10時00分～午後4時30分

2日目 令和2年10月19日(月)・22日(木)のいずれか1日(全日)

場 所:大阪急性期・総合医療センター3階講堂

参加者:障がい福祉サービス提供事業所職員、相談支援専門員、コミュニティソーシャルワーカー、介護支援専門員等 52名

※高次脳機能障がい児者の支援経験がある、もしくは具体的に支援をする予定がある支援者に限る

内 容:症状と対応、社会資源等の基礎知識に加え、日中サービス提供事業所や相談支援事業所からの実践報告、当事者の体験談、事例検討の演習等

(3)医療機関等職員研修

日 時:令和3年2月7日(日)午前10時～12時

方 法:Web 研修

参加者:医師、セラピスト、ソーシャルワーカー、看護師等 63名(うち、医師は33名)

内 容:高次脳機能障がいの診断と必要書類作成のポイントについて

自動車運転評価モデル事業実施状況

*R3年3月末までに事業を受け付けた人のR3年8月20日時点の状況

主な 運転 目的	人数	年代	継 続 中	事業中止	医師診断書 結果	公安委員 会の結果	公安委員会における判断 概ね1年後の運転 の有無※	
							運転して いる	運転して いない
仕事	58名	10～30代:5名 40～50代:39名 60～80代:14名	1名	STEP1:4名(本人・家族の申し出による) STEP2:1名(医師の判断による) STEP3:2名(神経心理学的検査の結果による) STEP4:2名(実車評価による)	○:47名 ×:1名	○:47名 ×:1名	13名	5名
通勤	17名	10～30代:2名 40～50代:12名 60～80代:3名	0名	STEP4:1名(実車評価による)	○:16名	○:16名	4名	0名
日常生活	62名	10～30代:8名 40～50代:39名 60～80代:15名	4名	STEP1:3名(本人・家族の申し出による) STEP3:2名(神経心理学的検査の結果による) 1名(本人の申し出による) STEP4:13名(実車評価による)	○:39名	○:39名	9名	4名
合計	137名	10～30代:15名 40～50代:90名 60～80代:32名	5名	STEP1:7名 STEP2:1名 STEP3:5名 STEP4:16名	○:102名 ×:1名	○:102名 ×:1名	26名	9名

※大阪府障がい者自立相談支援センターが相談窓口となった事例のみ